

オスプレイ反対県民大会にメッセージ参加することについて

私は、9月9日に行われるオスプレイ配備反対県民大会について、直接の参加を見合わせ、メッセージを送ることとしました。

現実の問題の解決を図るためには、市民運動の高まりを受け、行政が実務的な交渉を行うという役割分担が大切であり、両者がそれぞれ全力をあげて問題に取り組むことがよりよい形だと考えます。

私は県民の付託を受けた行政の長として、県民の意向を踏まえ、オスプレイの問題に取り組む所存です。

すでに、総理や防衛大臣に対し、直接、オスプレイ配備の見直しを求めるとともに、具体的な項目を示し、その説明を求めるなど、これまで様々な活動を行っているところです。

オスプレイの配備計画が進行する中、私は今後とも徹底して情報の公開を求め、オスプレイ配備の問題点を明らかにし、強く日米両政府に求めていきたいと考えております。

このような考えから、私は県民大会にはメッセージを送るとともに、大会の意義をふまえ、問題解決に全力で当たってまいることとしました。

県民の皆様の御理解をお願いいたします。

平成24年9月8日

沖縄県知事
仲井眞弘多